

■湧水の利用にあたって

本書に掲載している湧水は地域の方々が実際に利用しているものです。

ただし、湧水の特徴として周囲の自然環境や天候に影響を受けやすいことが挙げられます。そのため、湧水の利用にあたっては一般的に煮沸後の飲用が推奨されています。（水道水では次亜塩素酸ナトリウムなどを用いた塩素による殺菌が行われています。）

5分間煮沸を行えば、日常社会生活での感染の危険のあるものはすべて死滅できると言われており、大腸菌（O-157を含む）、ブドウ球菌は、80度の熱湯で5秒間加熱することで死滅できると言われています。

秩父湧水紀行

■秩父湧水を楽しむ調査班

企画・監修 石川 勉

調査・分析・執筆 金子 亮 島田 哲男 高橋 拓也

埼玉県秩父環境管理事務所

〒368-0042 埼玉県秩父市東町29-20

TEL 0494-23-1511

2015年11月発行

2016年1月改訂版発行

※本書で使用している地図は電子国土web上の地理院地図であり、また出版にあたって一部改定を行っています。